

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D5-17		
		仕様		STD		
		適用号機		ZDA00001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度	min ⁻¹	2200		
		ハイアイドリング	min ⁻¹	850		
		ローアイドリング	min ⁻¹	1840±50		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(°C)	—		
		(作動油温)	(°C)	—		
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa	3.2~ 315~		
		(油温)	(°C)	(通常運転)		
	(回転速度)	(min ⁻¹)	(最大回転)			
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.26±0.05		
		排気弁 隙間 (測定条件)	mm	0.33±0.05 (冷間時)		
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	圧縮圧力又は	kgf/cm ²	3.6		
		気筒間圧縮圧力差	KPa	350		
		(冷却水温)	(°C)	(—)		
(回転速度)	(min ⁻¹)	(—)				
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		KPa	(コモンレール)		
		[測定位置・条件] [kgとNの両方で表記]	[N]	設定なし (自動張り調整)		
動力伝達装置	クラッチペダル又はインキングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	cm	—		
		ペダルの遊びとストローク	cm	—		
		ペダルの全ストローク	cm	—		
	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—		
		ダイレクトシフト型	kg/cm ²	—		
		ミッション潤滑油圧	KPa	—		
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa	—	
	クラッチ油圧	クラッチ油圧	kg/cm ²	—		
		(ミッション油温)	(°C)	—		
(エンジン回転速度)	(min ⁻¹)	—				
プロペラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	cm	—		
		レバーの全ストローク	cm	—		
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—			
(油温)	kg/cm ²	—				
(回転速度)	(°C)	—				
(rpm)	(°C)	—				

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D5-17		
		仕様		STD		
		適用号機		ZDA00001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量)	mm	—	
			測定方法・条件 (図面番号表示)			
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図2参照	
			測定方法・条件 (図面番号表示)			
リンクピッチの伸び	測定方法・条件 (図面番号表示)					
	履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	400±70 40.8±7.1			
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力	床面勾配 1/5以上	—		
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	32mm/5分 地面から254mm	
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	13mm/5分 チルト左一杯	
			リッパーフットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			リッパージャックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			リッパージャックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
	ド ー ザ ー ・ シ ョ ベ ル	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			(作動油温)	(°C)	38-49°C	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.7±0.2秒 地面~最大	
作 業 機 速 度	ブルドーザー	リッパシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—		
		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—		
		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—		
		(作動油温)	(°C)	65 ± 5		
		油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	255±1 25.0±0.1
備考		(作動油温)	(°C)	(38~65)		

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態） 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 <div data-bbox="353 483 728 726" style="text-align: center;"> </div>